

学習の要点

第一次世界大戦が起こった原因と日本の関わりを明らかにしよう。

第一次世界大戦とは、1914年から1918年にかけて、同盟国(三国同盟)側と連合国(三国協商)側の間で行われた戦争。

Q:なぜ、第一次世界大戦は起きたのか？原因は？ →

- ①列強の対立
- ②民族の対立
- ③サラエボ事件

**①列強の対立**

○19世紀末…欧米諸国は、地球上の至る所で植民地を広げた。アジア、アフリカ、太平洋地域の大半を**植民地化**

↓

○欧米諸国が世界を支配した一方で、**ヨーロッパ内で対立**

↓

○20世紀初めのヨーロッパの国際関係は、**三国同盟**と**三国協商**との間で「武装した平和」と呼ばれる緊張がつづいた。

**②民族の対立**

○**バルカン半島**では、**オスマン帝国(トルコ)**が衰退…。

↓

○スラブ系・ゲルマン系など**独立をめざす諸民族**が、**民族が入りまじり、列強の利害や宗教などがからみあい、紛争が絶えなかった。**

↓

「**ヨーロッパの火薬庫**」と言われて、**今にも戦争が起こりそうな状態**

**③サラエボ事件**

○1914(大正3)年オーストリアの皇太子夫妻がサラエボで、スラブ系のセルビア人に暗殺される。

↓

○オーストリアはセルビアに**宣戦布告**。

↓

ドイツ、オーストリア、オスマン帝国を中心とした**同盟国** **VS** イギリス、フランス、ロシアを中心とした**連合国(協商国)**

※イタリアは同盟を破棄し、**連合国側に加わる**

**バルカン半島**

拡大図

ヨーロッパの地図

※現在のヨーロッパの地図を使用しています。

**1914年～第一次世界大戦が始まる**

ドイツ、オーストリア、オスマン帝国を中心とした**同盟国** **VS** イギリス、フランス、ロシアを中心とした**連合国(協商国)**

+

日本は**日英同盟**により**参戦**  
1917年アメリカ参戦

○アメリカの参戦により連合国側優勢になり、**1918年終戦**

○ざんごう戦で機関銃が大量に用いられたため死傷者→ばく大に

○戦車、飛行機、毒ガス、潜水艦など**新兵器**が使用

○国力を使い果たす**総力戦**

※戦争は世界中を巻き込み**4年余り続いた**。  
主戦場は**ヨーロッパ**

**第一次世界大戦での主な国の死者数**

国名	死者数(人)
連合国側	
イギリス	908371
フランス	1357800
ロシア	1700000
セルビア	45000
イタリア	650000
アメリカ	116516
日本	300
同盟国側	
ドイツ	1773700
オーストリア	1200000
トルコ	325000

※新兵器の登場により、今までの戦争と比べ死者の数が増えてしまった。  
※主戦場であったヨーロッパの国々は経済的にも疲弊した。その結果世界経済の中心はアメリカに移っていく。

○総力戦…軍事力、国民(女性、労働者等を含む)、経済力、技術力など国のすべてを動員して行われる戦争  
○**三国同盟 VS 三国協商**→サラエボ事件→第一次世界大戦(1914～1918年)→ベルサイユ条約(1919年)

〈まとめ〉

- ・サラエボ事件をきっかけに同盟国と連合国に分かれ第一次世界大戦が始まった。日本は日英同盟を理由に連合国側で参戦。戦車、飛行機など新兵器を用いるなど総力戦となった。